2009-10年度今治ロータリークラブ週報　No.35

第３５回例会報告（3月18日）

【　出　席　報　告　】

・会員数　５２名　・出席数　３０名　・欠席数　２２名
・当日出席率　６６．６６％　・前々回修正出席率　８８．０９％
＜欠席会員＞原(竜)、檜垣(賢)、檜垣(俊)、檜垣(巧)、伊藤、菅、小堀、久米、松田、松木、大澤、白石、竹田、矢野
〔免除会員〕青野、原田、門田、松本、宮本、村上、坂本、八木
＜3/4欠席補填＞(3/2今治南)金森、吉良　(3/13地区大会)平尾、光藤、大澤　(3/16今治南)原(竜)、(2/28水源の森)村上(裕)

◇入 会 式・愛媛信用金庫　今治支店　支店長　岡田善雄氏の入会式が行われました。
◇会長報告・３月13、14日に高知で開催されました地区大会に出席して参りました。２日目本会議にて世界社会奉仕賞の感謝状を渡邊道信会長が頂いて参りました。また坂本会員にロータリー財団地区奉仕賞が贈られております。
◇幹事報告・３RC合同親睦ゴルフ大会のお知らせ：３月21日（日）に、今治カントリークラブにて開催致します。スタートは９時50分です。参加される皆様よろしくお願い致します。

地区大会報告

◆**飯忠悟会員**：ロータリーは出席することが基本、今後も出席に励みたい。地区大会は「終わりよければすべて良し」でした。私は藤川さんとクジラの刺身やすき焼きを食べに行ったので、うちのクラブ仲間とご一緒できなかったのが心残りです。櫻井よしこさんの講演については、あの会場には米山の中国留学生が10人はいた。アンチ中国の話は、国際親善と友愛のロータリーにはなじまない。国際親善をモットーとする記念講演としては少し問題があったのではないかと思う。

◆**渡邊道信会長**：大会は岡内ガバナーの点鐘で始まり、挨拶の後2008年～2009年の会計報告を承認、大会決議案の報告の後、次期地区会は松山ロータリークラブをホストクラブとして、2011年４月15日（金）～17日（日）ひめぎんホールで開催されるとの発表があった。日本では入会しても短期間で退会する人が増えていて、魅力が薄れている。ひとり一人がプライドを持っことでロータリーが復活するのではないか。世界の会員数は、1,210,555人、クラブ数30,886、地区数531、日本は92,231人（女性3,979人）、クラブ数2,310、地区は34。日本は女性の割合が４％と少ない。今後は女性会員を増やす必要がある。今後とも個人の資質を高め倫理観を確立し職業奉仕をすべきであるとの話があった

◆**近藤正人会員**：櫻井さんの演題は「この国の行方」だった。ロータリーの講演としてふさわしかったかどうかは、飯会員と同感。民主党は小沢独裁体制で自由な議論が全くない。国の体制を溶解させるような政策ばかりとっている。法務局がやっていることは、最終的には中国に日本を占拠されるような事態も起こす。鳩山首相は全く信念のない人でリーダーとして失格。中国はどんどん軍拡している。世界第二位の軍事大国と警告。自分の国を外国人の軍隊に守ってもらうような国が独立国家と言えようかと強調した。

◆**重松宗孝会員**：ビチャイ　ラタクル氏の講演は、訳すと「ロータリーの運命と未来」であった。ロータリーの固有の特性が故の運命的、内包的な問題を述べ、その解決を明らかにし、その先に未来があるという内容であった。83歳で、大変元気でした。31歳で会員となり、44歳で国会議員をされた。地区会は親睦の場所だが、ここで立ち止まって未来を考える場としたい。衰退しないようあらゆる所で勇気を振るい、尊厳を保ちつつ四大奉仕を続ける限り、ロータリーは次の時代にも必要とされると語りかけた。

＜ビジター＞　大阪うつぼRC　桑森ひとみ様＜弁護士＞

次回例会（3月２５日）

【　米山記念奨学委員会アワー　】

＜夫人誕生祝＞ 飯　忠悟氏（3/27）
＜結婚記念祝＞ 坂本　昌平氏（4/5）　檜垣　巧氏（4/11）　瀧幸　勝也氏（4/11）
＜入会記念祝＞ 菅　主浩氏（3/28）　光藤　廣司志（4/3）

〔　国際ホテル　〕